

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料

社 会（歴史的分野）

教科用図書南那珂採択地区協議会

1 教科目標の達成及び教材の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、単元を貫く課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化されており、単元を通して課題解決的な学習活動ができるようになっている。 また、見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、本文の理解を深める「歴史にアクセス」コーナーなどで追究し、最後に、学習内容の定着を図る「チェック&トライ」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
17 教 出	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、学習のテーマをつかむ導入ページ、本時ページとそれに関連した特設ページ、学習のまとめと表現ページとなっており、見通し・振り返りの学習活動に取り組みやすくなっている。 また、見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、キャラクターの吹き出し内容などを基に追究し、最後に、学習内容を深める「確認!」「表現!」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
46 帝 国	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、章・節・見開きごとに問いと振り返りの学習を設け、それを積み重ねていくことで章の問いを自分なりに追究していくことができるようになっている。 また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、「年代インデックス」で時系列を確認しながら追究し、最後に、読解力や表現力等の育成を促す「確認しよう」「説明しよう」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
81 山 川	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入（日本史と世界史の帯年表）ページ、本文ページ、書き込み式のまとめページとなっており、世界史も含めた歴史の流れをつかむための工夫が見られる。 また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、本文やコラム、関連のグラフ、用語解説などで追究し、最後に、学習内容の定着をさらに深める「ステップアップ」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。

116 日 文	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、編の構成は、導入ページ、本文、チャレンジ歴史、本文、学習を振り返るまとめページとなっており、各時代に関する特色や流れを理解しやすくなっている。 また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、手がかりとなる「見方・考え方」や、「時代スケール」などを基に追究し、最後に、学習内容の理解を確かめる「確認」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
227 育 鵬 社	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、まとめのページとなっており、各時代の特色を明らかにした上で、歴史の大きな流れを捉える力を養うための工夫が見られる。 また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、本文の理解を助ける写真や表・グラフ・コラムなどで追究し、最後に、レポートや論述などでまとめる「学習のまとめ」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、第1編に、時期や年代の表し方を示したり、推移・比較・相互の関連等の歴史的な「見方・考え方」を説明したりすることで、その後の学習の手立てとして活用できる工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、学習したことを確認できる「基礎・基本のまとめ」のコーナーや、歴史の学習に必要な技能を身に付ける「スキル・アップ」コーナーを設けるなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習内容を「ウェビング」などの「思考ツール」を活用してまとめたり、文化史のコラム「もっと歴史」で思考を深めたりするなどの工夫が見られる。
17 教 出	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、冒頭の活動で歴史の流れを捉えたり、時期や推移、比較、関連等の歴史的な「見方・考え方」を具体的に確認したりすることで、学習の見通しをもたせるなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、節の学習を振り返る「〇節を捉える」コーナーを設けたり、適宜設けられた資料内容を読み取る「読み解こう」コーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、歴史を多面的・多角的に考察したり理解したりできるコラム「歴史の窓」や学習を振り返る「学習のまとめと表現」ページを設定するなどの工夫が見られる。
46 帝 国	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、冒頭で歴史の流れや歴史の調べ方、また、歴史的な「見方・考え方」などについて詳しく示し、学習の見通しをもちやすくするなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、節の学習を振り返って説明する「第〇節の問いを振り返ろう」を設けたり、基礎的な技能を身に付けるための「技能をみがく」を設けたりするなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、言語活動を促す「章の学習を振り返るページ」や学習した内容をさらに深める「多面的・多角的に考えてみよう」コーナーを設けるなどの工夫が見られる。

81 山 川	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、様々な資料を基に提示された課題について、話し合ったり考察を深めたりする「歴史を考えよう」コーナーを、章ごとに設定するなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、冒頭で、歴史を学ぶための基礎知識と調べ方を示した「歴史との対話」を設けたり、同時代の日本と世界を捉える「〇〇世紀の世界」のページを設けたりするなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各単元の導入の発問や図版の近くに設けた発問など、各所に設けた発問について自ら考えさせるなどの工夫が見られる。
116 日 文	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、冒頭で、時系列・推移・比較・つながりという4つの歴史的な「見方・考え方」を明示したり、キャラクターが「見方・考え方」の活用に関する具体例を示したりするなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、「スキルアップ」コーナーで調べ学習のポイントや系図の見方などを身に付けたり、巻末の歴史学習の基礎資料ページを活用したりできるなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「先人に学ぶ」「女性史コラム」「地域に学ぶ」等を掲載し、当時の人物の偉業等と現在とのつながりを意識できるような工夫が見られる。
227 育鵬社	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、自分なりの価値判断をする「歴史のターニングポイント」を設定したり主体的に時代の特色を捉える「『私の歴史博物館』をデザインしてみよう」を設定したりするなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、序章で歴史の流れ、年代や時代区分の表し方、「歴史ワクワク隊・6つの心得」において、歴史の学び方を示すなど、学習に必要なことを学ぶ工夫が見られる。 (3) 未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、巻末に「歴史新聞をつくろう」や「日本の歴史を大観する」ページを設定して、学んだことを自分の言葉で表現するなどの工夫が見られる。

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、インターネットのデジタル資料を活用した学習ができるなどの工夫が見られる。 また、ページ下の、学習内容を示す「チェック&トライ」のコーナーで学習内容を振り返ったあとに、数ページ先の「探究のステップ」のページを示すなどして、発展的な学習が効率的に行えるような工夫が見られる。
17 教 出	(1) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、見開きで設けた「時代スケール」に色付けをするなどの工夫が見られる。 また、巻頭で小学校の学習を振り返るとともに、ページ下には関連分野を示して学習内容の関連性・系統性を意識したり、「二次元コード」を読み取って、インターネットを活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。
46 帝 国	(1) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、章の初めに、時代をイメージできる大判のイラストを用いるなどの工夫が見られる。 また、地図などの図版は、記号等が明瞭で、読み取りやすい配慮がなされていたり、「二次元コード」を読み取って、動画などのコンテンツ資料を活用した学習が行ったりできるような工夫が見られる。
81 山 川	(1) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、用語解説のコーナーで、難解な用語を解説するなどの工夫が見られる。 また、小学校との接続に配慮し「歴史を大きく変えた人物」を巻頭に設けたり、「二次元コード」を読み取って博物館や資料館のホームページサイト及び、動画や音声を活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。
116 日 文	(1) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、各単元の見出しやインデックス、ページを示す箇所の色を統一するなどの工夫が見られる。 また、小学校の学習内容との関連を図るために、巻頭で、既習の人物や文化遺産を振り返るとともに、QRコードを読み込んで、デジタルコンテンツ資料を活用した学習を行うなどの工夫が見られる。

227 育鵬社	(1) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、部分的に拡大したり、読み取るための視点を示したりするなどの工夫が見られる。 また、巻頭では、小学校で学んだ人物とその似顔絵を掲載して既習事項との関連を図ったり、各章の初めには、親しみやすいイラストで描かれた「歴史絵巻」で歴史の大きな流れを捉えたりできるような工夫が見られる。
---------	--

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

〔観点4〕 家庭や地域と連携した学習の推進とともに、生徒の確実な基礎・基本の定着という視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 地域と連携した学習内容として、「地域の歴史を調べよう」のコーナーを設け、「テーマ設定」や「調査」の段階などで生徒が地域の歴史資料や地域人材に関わりながら主体的に自分の地域の歴史を探究できるようにする工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、興味関心を高める導入資料や学習課題の明確化、終末段階の整理とまとめなどの授業構成の工夫や各単元終末部の「基礎・基本のまとめ」の設定などにより学習内容の確実な定着を図る工夫が見られる。
17 教 出	(1) 地域と連携した学習内容として、「身近な地域を調べよう」のコーナーを設け、テーマ設定や情報収集、調査等の活動を通して地域人材や様々な資料、博物館等の施設に関わりながら主体的に地域の歴史を探究できるようにする工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、毎時間の学習内容を象徴的にイメージさせる主題と学習事項を示す副題、さらに学習の最後の「確認!」「表現!」のコーナーを設け、毎時間の学習内容の確実な定着を図る工夫が見られる。
46 帝 国	(1) 地域と連携した学習内容として、「歴史の調べ方、まとめ方、発表のしかた」のコーナーを設け、調べる段階やまとめる段階において地域の歴史資料や地域人材等に関わりながら主体的に地域の歴史を探究できるようにする工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、毎時間の学習内容を分かりやすいテーマと学習課題で示すととともに終末段階で行う「確認しよう」「説明しよう」の活動を通して毎時間の学習内容の確実な定着を図る工夫が見られる。
81 山 川	(1) 地域と連携した学習として、「身近な地域を調べよう」のコーナーを設け、自分たちの身近な地域の歴史の気付きや疑問の解決に取り組むことを通して地域の歴史資料や地域人材と関わりながら主体的に探究できるようにする工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、毎時間の授業の発問の工夫や教科書の史・資料の量を増やすこと、さらに図版や用語解説を充実させることなどにより、深く、かつ分かりやすく学習内容の確実な定着を図る工夫が見られる。
116 日 文	(1) 地域と連携した学習内容として、「先人に学ぶ」「歴史を掘り下げる」「地域に学ぶ」「でかけよう地域調べ」などの多様なコーナーを設け、身近な地域の歴史資料や地域人材などに関わりながら主体的に探究できるようにする工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を明確に示した「学習課題」と「見方・考え方」を設定するとともに、「深めよう」や「確認」のコーナーにより学習内容の確実な定着を図る工夫が見られる。
227 育 鵬 社	(1) 地域と連携した学習内容として、「地域の歴史を調べてみよう」のコーナーを設け、身近な地域の歴史について調べ、まとめる技術を学びながら、地域の歴史資料や地域人材などに関わりながら主体的に探究できるようにする工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、「歴史ビュー」や「歴史ズームイン」など多彩なコラムを設けるとともに見開きや各章ごとの「学習のまとめ」、巻末の「歴史学習のまとめ」などにより学習内容の確実な定着を図る工夫が見られる。